

【大会特別規則】

全日本大学女子野球選手権大会特別規則は、2023年度公認野球規則、アマチュア野球内規・全日本女子野球内規に準じ、次に定める規定を適用する。

1. 試合球は、(財)日本野球連盟 (JABA) 公認の公式試合球 (mizuno) を使用する。
2. 攻撃時の投手に代わるDHの採用を認める。(女子野球内規：3. 指名打者)
3. 大会形式は参加大学13チームによるトーナメント戦とする。
4. 7回 (イニング制) とし、7回を終了時点で同点の場合は「特別延長戦」に移行し勝敗を決するものとする。決勝戦を除き8回から無死走者1.2塁からのタイ・ブレイク制を適用し勝敗を決するものとする。但し、決勝戦については延長戦を行い、9回を終了時点でも同点の場合は無死走者1.2塁からのタイ・ブレイク制を適用し、勝敗を決するものとする。
※延長回に関わる特別規則 (タイ・ブレイク)
 - ①7回の攻撃を終了し、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、無死走者1.2塁の状態から行うこととする。
 - ②タイ・ブレイクは、継続打順とする。
 - ③タイ・ブレイク走者は、前項による打者の前の打順のものが1塁走者、1塁走者の前の打順のものが2塁走者となる。(例：5番打者からその回の攻撃が始まる場合は、4番打者が1塁走者、3番打者が2塁走者となる)
 - ④この場合の代打及び代走は認められる。
5. 試合は5回終了にて成立。降雨により試合継続が困難となった場合、5回に達していない場合は審判団と主催者が協議して決定する。
6. 5回終了時点で、7点以上の得点差がある場合はコールドゲームを適用する。
7. 審判員は1.2回戦を3人制、準決勝以降4人制とし、高知県軟式野球連盟審判員が担当する。
8. アピール権は監督及び当該選手が行う。なお、選手交代や試合中のタイムも同様とする。
9. 監督及び監督の指示によるグラウンド内進入は、ファールラインを越えたか否かを基準として〔試合中攻撃時〕3回まで〔守備時〕3回まで〔1回につき〕1分以内とする。
なお、延長回に入った場合は、それ以前の回数に関係なく、2イニングにつき〔攻撃時〕〔守備時〕それぞれ1回のグラウンド内進入を認める。
10. ベンチ入りする選手・監督・コーチは、全員が統一した野球帽及び背番号付きのユニフォームを着用のこと。トレーナー・マネージャーはこの限りでない。
11. 突発事故による一時的な代走を認める。この場合、原則として (投手を除き) 前回の最終打者が臨時代走を務める。
12. その他の競技規定は、特に問題が生じた場合には、審判団と主催者が協議して決定する。
13. 雨天などによりグラウンド状況が不良の場合は、主催者の判断で試合スケジュールを変更する場合がある。

【競技運営に関する規定】

1. メンバー表の交換、先攻/後攻の決定は前の試合終了後 (第1試合は試合開始30分前まで) に大会本部にて行う。その際、メンバー表1部 (必ずふりがなをつけること) を提出して登録メンバーとの照合を受けること。

2. メンバー表の交換後は、如何なる理由があろうとその変更は認めない。
3. 背番号は算用数字で0番からとし、その着用に際し特に規定・制限は設けない。
4. 試合中ベンチに入れる人員は次の通り。大会出場チーム登録名簿に記載された役員（監督・コーチ・トレーナー・マネージャー他）5名までと、競技者（選手）25名までの計30名以内とする。
5. 試合中のベンチに持ち入れられる用具は、野球用具、作戦ボード、給水タンクなど競技に関わる物のみとし、応援メガホン・記録カメラなどの競技に関わらない用具・用品の持ち入れを禁止とする。（事前に許可を受けた場合は除く）
6. 登録名簿の変更は大会開幕前日まで認める。未登録選手の出場が明らかになった場合には没収試合とする。
7. 試合前のアップは安芸ドーム又は補助グラウンド東面内で行うこと。但し、ロングティー及びフリーバッティングは禁止とする。
8. 試合前のシートノックは後攻チームから行い、ボール回しを含めて7分間とする。ノッカーも必ずユニフォームを着用すること。
9. 試合中のボール回しは試合進行状況により省略する場合がある。
10. 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合の開始を早める場合がある。またその逆に、前の試合が延長された場合、次の試合の開始を遅らせる場合がある。
11. 特別の事由なく、試合開始時刻になっても会場に来ないチームは棄権（不戦敗）とみなす。